

～ピアノとクロマティックハーモニカが作り上げるハーモニーをあなたに～

長澤晴浩と 心を奏でる会

in 函館 パートVI

日 時：2012年6月23日(土)

午後2時開場、午後2時半開演

開 場：金森ホール

入場料：2000円

主 催：『クラヴィミュージック』

協 力：金森ホール

堤 洲子 様

伊藤麗子 様

後 援：(社団)函館視覚障害者福祉協議会

インクルーシブ友の会

中島れんばい横町実行委員会

<お問合せ>

「クラヴィミュージック」

長澤晴浩：tel 03-3873-6764

<http://klavimusic.com> (ホームページ)

金森ホール：tel 0138-23-0338

堤 洲子：tel 048-642-0543

伊藤麗子：tel 0138-43-5923

in 函館 パートVI

日 時：2012年6月23日(土)

午後2時開場、午後2時半開演

開 場：金森ホール

入場料：2000円

主 催：『クラヴィミュージック』

協 力：金森ホール

堤 洲子 様

伊藤麗子 様

後 援：(社団)函館視覚障害者福祉協議会

インクルーシブ友の会

中島れんばい横町実行委員会

ピアノ：長澤晴浩（ながさわ はるひろ）

クロマティックハーモニカ：中里 聰（なかざと さとる）

●ピアノ

・月光ソナタ L.V.ベートーヴェン作曲
・他

●クロマティックハーモニカ

・ベルベットワルツ 吉松 隆作曲
・ハーモニカ協奏曲 M.アーノルド作曲
・他



中里 聰

長澤 晴浩
撮影：佐々木朋実

ご挨拶

地元ご出身の堤洲子(つつみ しゅうこ)様及びそのお知り合いの方々によるお力添えの下、2007年から毎年続けております『心を奏でる会』も今年で6回目となります。これまで同様、皆様のお力を借りて、ますますこのコンサートシリーズを続けて行きたいと切望しております。今年も皆様との温かい触れ合いの時間が、コンサート会場いっぱいにもたらされますことを楽しみにしております。

長澤晴浩 記

長澤 晴浩 ながさわ・はるひろ(ピアノ)

東京都出身、武蔵野音楽大学卒業。

1988年、「第5回視覚障害者のための国際音楽コンクール」(チェコ)で特別賞受賞。

2009年、及川音楽事務所「第17回新人オーディション」にて審査員賞受賞。

2010年、(株)ライズサーチ主催「第1回クラシック音楽演奏家オーディション」にて特別賞受賞。

1985年より現在まで7回の自主リサイタルを上野学園石橋メモリアルホール、津田ホール、JTホールアフィニスなどで開催。

他に2度のオーケストラとのピアノ協奏曲の共演やクロマティックハーモニカ、ヴァイオリン、フルート、ソプラノ、アルトサクソフォーンなどとの共演も多数行っている。

また、過去5回の「長澤晴浩と心を奏でる会 in 函館」も好評を博し、本年1月の白百合学園での吹奏楽との交流コンサートも大きな足跡となった。

2010年、初のCD「ファーストセレクション『安らぎと愛』(IMCM2005)」をリリース・絶賛発売中。

現在、演奏活動の傍ら、後進の指導、点字楽譜の校正作業、東京近郊の楽譜点訳グループとの点訳法の研究、株式会社マイクロシー・エー・デー発売の点字楽譜学習ソフト「ビー・スコア(B'Score)」の開発プロジェクトに名前を連ねるなど、多方面にわたり活躍。

福井直敬、故岩尾輝子、ジョルジー・サンドール、ベルント・ツァック、木村徹、他の各氏に師事。

中里 聰 なかざと・さとる(クロマティックハーモニカ)

千葉県市川市出身。崎元譲、トニー・ライリーの諸氏に師事。

筑波大学附属盲学校高等部音楽科・同専攻科音楽科卒業。

1986年に世界ハーモニカ連盟日本支部主催ハーモニカ・コンテスト・クロマティック部門で1位入賞。

1992年に東京でデビュー・リサイタルを行い好評を博す。その後、津田ホール、東京文化会館などでリサイタルを開催。

1997年にザ・シンフォニーホール(大阪)にて小松一彦指揮でM.スピヴァコフスキイのハーモニカ協奏曲などを共演。

2004年には英国のハモンズウッドにて元ロンドン・フィルハーモニー交響楽団の主力メンバーからなる弦楽四重奏団と共演。

2006年に全日本ハーモニカ連盟より第28回日本ハーモニカ賞受賞。

2011年には「ニュー・シネマ・パラダイス組曲～ハーモニカ・デュオ名曲集」(CMCD28227)を崎元譲氏とのハーモニカ・デュオにてカメラータよりリリースし、同年発売のレコード芸術4月号(音楽之友社)の準推薦ディスクに選出された。

現在、ピアノ、オーケストラ、室内楽、歌、合唱、和楽器等との共演、新曲の委託初演やテレビ、ラジオへの出演等、多方面にわたって国内外各地で意欲的に演奏活動を行っている。

筑波大学附属盲学校音楽科講師として得た経験を生かし、現在もさまざまな場で後進の指導にあたっている。